



PARIS2015
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE
COP21・CMP11

『日仏フォーラム 環境移行期を生きる』

今年12月にパリで開催される『第21回 国連気候変動会議（COP21）』に向け、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本は環境省との共催で、『日仏フォーラム 環境移行期を生きる』を5月18日(月)、日本橋三井ホール（東京）にて開催します。

気候変動・温暖化対策の国際合意を目指す歴史的な機会になるであろう『第21回 国連気候変動会議(COP21)』が、今年12月にパリで開催されます。世界中が環境に配慮した社会への移行期である今、日本でも環境優先を理念に掲げる2020年の東京オリンピック開催も踏まえ、様々な対策に取り組んでいます。本フォーラムでは、環境問題に関する両国の協力関係を強化し、省エネ分野でのイノベーションについての知見を交換します。COP21において重点的に討議されることになる低炭素社会への具体的な行動目標の策定に大きく貢献する重要な場となるでしょう。

【日仏フォーラム 環境移行期を生きる 概要】

日時 : 5月18日(月) 9:30~19:00 (入場無料)

会場 : 日本橋三井ホール (東京都中央区日本橋室町2-2-1 COREDO室町4F)

※ 詳細・オンライン申し込みはこちらまで <http://www.institutfrancais.jp/cop21>

主催: 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、共催: 環境省／公益財団法人地球環境戦略機関 (IGES)

助成: アンスティチュ・フランセ パリ本部、後援: 朝日新聞社／日本経済新聞社／国連広報センター

オフィシャル・パートナー: ヴェオリア・ジャパン株式会社／サンゴバン株式会社、協力: 持続可能開発・国際関係研究所 (IDDRI)、三井不動産株式会社

プログラム:

- 10:00 開会の辞 フィリップ・ゼレ (フランス気候変動交渉大使 アジア担当) / 北村茂男 (環境副大臣)
- 10:30 ラウンドテーブル «2050年に向けた日仏の低炭素社会の実現のための経済戦略とは?»
司会: 浜中裕徳 ((財) 地球環境戦略研究機関理事 (IGES).
パネリスト: 川上毅 (環境省地球環境局 市場メカニズム 室長) / 国吉浩 (NEDO理事兼エネルギー・環境本部長) / 末吉竹二郎 (国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) 特別顧問) / ミッシェル・コロンビエ (持続可能な開発と国際関係研究所 (IDDRI) 所長) / フランソワ・モアザン (持続可能な開発国土整備省 (ADEME) 所長)
- 14:00 ラウンドテーブル «企業、温室効果ガス排出とグリーン成長: COP21に向けた目標とは?»
司会: 久保田啓介 (日本経済新聞編集委員兼論説委員)
パネリスト: 出雲充 ((株) ユングレナ代表取締役社長) / フランソワ・ヴネ (エア・リキード副社長 (フランス)) / エレーヌ・ルベデフ (ヴェオリア 持続可能な発展副局長 (フランス)) / 三岡美樹 (オリックス (株) 環境エネルギー本部業務管理部長) / 尾崎信之 ((株) 東芝 社会インフラシステム社 鉄道・自動車システム時業務 技監)
- 16:15 ラウンドテーブル «明日のよりよい暮らし: 新たな環境への移行期間における都市の生活様式とその後の展望とは?»
司会: 大野博人 (朝日新聞論説主幹)
パネリスト: マニュエル・タルディッツ (建築家, みかんぐみ共同主宰) ジャック・レヴィ (地理学者、都市工学者、ローザンヌ連邦工科大学教授 エスパス・タン・ネット誌共同編集長) / 伊東豊雄 (建築家) / 小林光 (慶応大学特任教授、元環境事務次官) / 枝廣淳子 (東京都市大学環境部教授、幸せ経済社会研究所所長、環境ジャーナリスト、NGOジャパンファー・サステナビリティ代表)
- 18:15 閉会の辞 ティエリー・ダナ (駐日フランス大使) / 舛添要一 (東京都知事)

プレスお問合せ: 津田 桜

tel : 03-5798-6008 - メール : sakura.tsuda@institutfrancais.jp

www.institutfrancais.jp